

レッドベレーザの23

全400口 | 1口出資額60,000円(税込) | 総額2,400万円(税込)

生産牧場 三嶋牧場 育成牧場 三嶋牧場・BTC(予定)



次代を担う母の輝かしき第一章、オークスを照準に屈強な心身を育む

現時点における馬体の特徴と適性

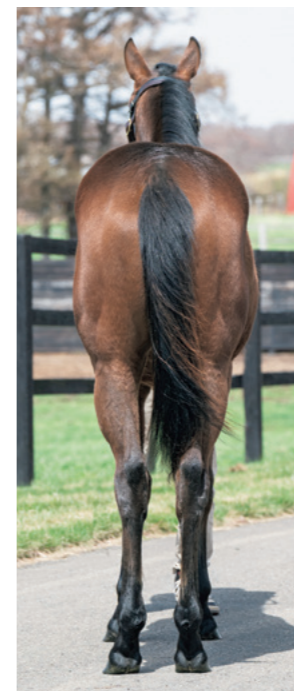
現役時代はG1レースを計7勝し、年度代表馬を二度獲得、種牡馬入りしてからも11年連続リーディングサイアーに輝くなど、歴史的偉業を達成したディーブインパクト。その娘である母は、当クラブ所属馬として競走馬デビューし、2歳10月の京都芝1400mコースを舞台とする新馬戦を快勝。次走に選択したG3ファンタジーSでも、勝ち馬から0秒4差の5着に健闘しました。その後、3歳夏に勝ち鞍を加え、5歳いっぱい現役を引退。繁殖入りし、父にG1ダービー、G1天皇賞・秋と二つのビッグタイトルを獲得したレイデオロを迎えて誕生した初仔となる牝駒が、本馬となります。薄くて、しなやかな首差し、胸筋が発達していて皮膚感の良さも光る胸前、背筋がしっかりと付いている背中、形状が良く張りも十分なトモ、伸びやかで肋骨周辺の張り具合も素晴らしい胴、気になるところが皆無の前肢、飛節に力強さがある後肢といったパーツからなる馬体は、重心が低く、均整も取れた一見の価値があるもの。気性も前向きなだけに、2歳夏にはマイル前後の距離でデビュー戦を迎えられると見えています。ポテンシャルは高く、観る者の胸を高鳴らせるような、熱い走りを期待したいところです。

辻野泰之調教師コメント

レイデオロ産駒の傾向を見る限り、どちらかというと成長曲線がゆっくり。成長を待ちながら仕上げた方が、産駒の良さを引き出せそうな印象を持っています。本馬はサイズの的にも心配なく、幅もあるようなので、牝馬としては心強い材料。順調なら2歳秋からデビューできるイメージです。スタミナを備えている父には、スピードに秀でた牝系との配合が良いと思っていたので、母が芝の短距離で2勝を挙げていて、軽さがあるディーブインパクトの肌という配合は活躍を想像することが出来ます。また母の姉妹も走っている母系のバックボーンも頼もしく感じます。厩舎としては順調に勝ち星を挙げることができていて、重賞もコンスタントに勝たせてもらうようになって来ました。あとはもうひとつ殻を破るためにも「G1を勝ちたい」というのが本音です。本馬でもそのチャンスに恵まれるよう頑張っていきます。

| | | |
|-------------|------------------|------------------|
| レイデオロ | キングマンボ | Mr. Prospector |
| Rey de Oro | Kingmambo | Miesque |
| 鹿 2014 | King Kamehameha | *ラストタイクーン |
| ラドラーダ | *マンファス | Manfath |
| La Dorada | | Pilot Bird |
| 青鹿 2006 | *シンボリクリスエス | Kris S. |
| | Symboli Kris S | Tee Kay |
| | *レディブロード | Seeking the Gold |
| | Lady Blond | *ウインドインハーヘア |
| レッドベレーザ | *サンデーサイレンス | Halo |
| Red Belezza | Sunday Silence | Wishing Well |
| 鹿 2016 | Deep Impact | |
| | *ウインドインハーヘア | Alzao |
| | Wind In Her Hair | Burghclere |
| | ミスターグリーリー | Gone West |
| | *レッドメドューサ | Mr. Greeley |
| | Red Medousa | Long Legend |
| | 栗 2009 | キャッチアズキャッチキャン |
| | Catchascatchcan | Pursuit of Love |
| | | Catawba |

ウインドインハーヘア:M3×S4 Mr. Prospector:S4×S5×M5



管理予定調教師

辻野泰之調教師(栗東)

◆1981年8月29日生 ◆2021年開業(4年目) ◆JRA通算80勝 ◆JRA重賞7勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- マストディーヴァ:阪神牝馬S(G2)、ローズS(G2) ●カラテ:新潟記念(G3)、新潟大賞典(G3)
- ロークスランド:関屋記念(G3)、京都牝馬S(G3) ●ミクソロジー:ダイヤモンドS(G3) ●サヴォワールエメ:オパールS(L)
- ポッドボレット:すみれS(L)、京都2歳S(G3)4着 ●ディオ:東風S(L) ●グローブシアター:三木ホースランドパークジャンプS
- ディナースタ:比叡S ●サターン:難波S



ファミリー(母系)

母の父 ディーブインパクトは早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:オーギュスト ロダン(英ダービー-G1)。【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファースト レイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチャリティS-G1)、プレイディヴェューグ(エリザベス女王杯-G1)

母 レッドベレーザ(16 ディーブインパクト) 2勝、ファンタジーS-G3 5着。本馬が初仔

祖母 *レッドメドューサ(09 Mr. Greeley)米国産、不出走。産駒 **レッドランディーニ**(牝 ディーブインパクト) 3勝、御室特別、マーメイドS-G3 2着、エルフィンS-L 3着、チューリップ賞-G2 5着

ルージュラテール(牝 ハーツクライ) 3勝、五頭連峰特別、白菊賞、エルフィンS-L 3着、◎

レッドフラヴィア(牝 ダイワメジャー) 4勝、秋風S、蓬萊峡特別

ルージュメサージュ(牝 スピルバーク) 2勝

レッドロスタム(牡 ロードカナロア) 1勝、◎

曾祖母 **キャッチアズキャッチキャン** Catchascatchcan(95 Pursuit of Love) 英4勝、ヨークシャー オークス-G1、ランカシャー オークス-G3、Aphrodite S-L。産駒

アントニウス ピウス Antonius Pius:愛2勝、レイルウェイS-G2、英仏・北米入着、BCマイル-G1 2着、セント ジェイムズ パレスS-G1 3着、ムーランド ロンシャン賞-G1 3着。種牡馬

***ソングオブアイスアンドファイア** Songoficeandfire:北米2勝、オーキッドS-G3 2着、ピウッチS-G3 3着、River Memories S 3着

プリンセス ザーラ Princess Zara:不出走。産駒 **レイディマッキー** Lady Mackii:ペルー1勝。産駒

ハッピー ヴァリー Happy Valley:ペルー10勝、ペルー2000ギニー-G1、リカルド オルティス デ セパールヨス賞-G1 2着

ミス ブラック Miss Black:ペルー5勝、Premio Gustavo Luna Vertiz-L 2着

キャッチ ザブルー ハット Catch the Blue Hat:仏入着。産駒 **キャッチ ザットソング** Catch That Song:不出走。産駒

イツェル Itzel:北米1勝、Sweet Life S-L 3着

配合診断

父の特性を的確に活かす母のスピード能力、クラブの一翼を担う母系からニューヒロイン誕生

母レッドベレーザはレッドランディーニ(マーメイドS2着)の全妹にあたり、現役時代はファンタジーS(G3)で5着と健闘したスピード馬でした。3代母Catchascatchcanはヨークシャーオークス(英G1・芝12F)を含めて4戦全勝の成績を残した名牝だったので、おそらく2代母の父Mr.Greeleyの仕上がりの早さとスピードが強く影響したのでしょう。母は2歳時から頭角を現し、芝1400mの重賞で入着したほどのスピードを持っていたので、父レイデオロのスタミナは好ましいはず。レイデオロは現役時代に日本ダービー(G1)と天皇賞・秋(G1)を制覇し、種牡馬としては1800m以上で良績を残しています。母方に欧州型のスタミナを入れた配合よりも、アメリカ型のスピードを入れた配合に活躍が目立ちます。本馬はこのパターンで、芝中距離が主戦場です。